1頁

平成18年 2月14日 13時33分 作成

当初予算 作 成 者: 米子市 2 ( 簡略番号 003300) 前年度 前年度 課 所属課コード 2503000000 07 商工費 各 調整結果額 うち復活額 頂 当初予算 現計予算 要求額 一般財源 所属課名 商工課 01 商工費 目 内線番号 02 商工業振興費 4,064,692 4,365,295 4,694,564 3,720,851 0 実 大事業 部 |004||商工業振興資金貸付事業(商工課) 実施計画計上額 施 一般財源 章 中事業 国庫支出金|県支出金 地方債 その他 00 計 節 小事業 00 財源内訳 0 3,720,851 0 細事業 画 細節 0 節 1.事業の概要と必要性 本年度の財源内訳 区分 金 額 財源|款 頂 節 細節 金額 事業全体概要 鳥取県及び金融機関と協調した制度融資を運用することにより、本市が調達した原資 21 貸付金 3,720,851 諸収 21 02 04 01 001 3.720.851 の数倍の額の融資を創出して下記目的を達成し、もって地域経済の活性化を図る。 商工業振興資金貸付金元利収入(商 ・民間金融機関の融資を補完し、経営基盤の弱い中小企業者の資金繰りを支援する。 ・新規開業や新技術・新商品の開発等の新しい動きを支援する。 ・企業の集団化、業種転換、設備の近代化など、市内産業構造の転換を誘導する。 ・災害、経済情勢の変化、取引先倒産など、突発的・広域的な局面に対応する。 事業効果 金融機関に対する資金預託によって融資利率を抑えることができ、また、預託金は企 業の返済に関わらず市に償還される。 2.根拠法令 3 . 用地の状況 4.基本計画との関連 5. 本年度の計画効果 平成18年度新規予定融資枠 ・米子市制度融資枠 1.670.000.000円 · 県市協調一般制度融資枠 4.160.000.000円 · 県市協調特別制度融資枠 4.165.000.000円 (総融資枠) 9.995.000.000円 6.財源の説明 財源内訳の積算根拠 財源は、商工業振興資金貸付金元利収入。 ・金融機関の融資残高に対応する継続分預託金 3.069.564.000円 ・本年度中新規融資見込額に対応する新規分預託金 1.625.000.000円 他市の状況 平成18年度から、鳥取県が、制度融資の運用を預託方式から金融機関への利子補給方式に変更するが、県内全市町村が、預託方式を継続することとした。 事務事業評価の反映状況 現状維持 利子補給方式への移行について、一般財源の負担増加を伴う巨額な補助金制度の創設となるため、メリットを十分に考慮しての継続的な検討が必要と評価した。 今回の予算要求に当たっては、巨額な財政負担増加をしてまでのメリットがないと 判断し、預託方式を継続することとし、県の了解を得た。 目的別 性質別